

北区・上京区 認知症初期集中支援チームが あなたをサポートします！



これって、もしかして認知症!?



まずは気軽にご相談を!!

「最近、もの忘れが多くなってきた気がするけど、やっぱり年せいかな？」
本当にそうでしょうか？もし少しでも認知症の症状を疑うことがあれば、早めに認知症初期集中支援チームに相談してみませんか？

“認知症”は早く気づいて対応することで、症状を軽くしたり、進行を遅らせることができます。

認知症初期集中支援チームとは…

認知症サポート医（認知症専門医等）と医療・介護の専門職（看護師、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士等）で構成され、認知症の『早期発見』と『早期対応』を目指して活動する認知症の専門チームです。

Q1. 支援チームは何をするの？

認知症の疑いのある方(認知症のある方)のご自宅を訪問し、心配ごとや困っていることをお聞きして、認知症の有無の確認や今後の対応について、ご本人やご家族と一緒に考えます。また、必要に応じて、認知症対応の医療機関のご紹介、介護保険サービスの利用支援や情報提供などをいたします。

Q2. どんな人が対象になるの?

支援対象となるのは、京都市北区・上京区内の在宅で生活されている40歳以上の方で、認知症の疑いのある方、もしくは認知症の診断を受けている方で、かつ、次の①または②に該当する方です。

- ①適切な医療サービスや介護サービスを受けていない方、またはサービスの利用を中断している方
 - ②医療サービスや介護サービスを受けているが、認知症の症状が悪化して対応に悩んでいる方

Q3. 家族でも相談できるの?

Q2に該当する方であれば、ご本人だけでなく、ご家族が相談することもできます。



Q4.費用はかかるの?

認知症にかかる相談、医療機関のご紹介、介護保険サービスの利用支援や情報提供に関する費用は一切かかりません。なお、医療機関を受診されたり、介護保険サービスを利用されたりする場合は、公的保険制度の一部負担金等がかかります。



自分でチェック

- ものをなくしてしまうことが多くなり、いつも探し物をしている。
- 財布や通帳など大事なものをなくすことがある。
- 曜日や日付を何度も確認しないと忘れてしまう。
- 料理の味が変わったと家族に言われた。
- 薬の飲み忘れや、飲んだかどうかわからなくなることがある。
- リモコンや洗濯機などの電化製品の操作がうまくできない。
- イライラして怒りっぽくなつた。
- 一人でいるのが不安になったり、外出するのがおっくうになった。
- 趣味や好きなテレビ番組を楽しめなくなつた。



1つでも思い当たる場合、まずは気軽にご相談を!

家族・身近な人でチェック



- 同じことを何度も繰り返して話したり、聞いたりする。
- しまい忘れが多く、いつも探し物をしている。
- 曜日や日付がわからず何度も確認する。
- 料理の味が変わったり、準備に時間がかかるようになった。
- 薬の飲み忘れや、飲んだかどうかわからなくなることがある。
- リモコンや洗濯機などの電化製品の操作がうまくできない。
- 失敗を指摘されると隠そうとしたり、些細なことで怒るようになった。
- 財布や通帳などをなくして、盗まれたと人を疑うことがある。
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなつた。



いくつか思い当たる場合、まずは気軽にご相談を!

(京都市認知症初期集中支援事業受託事業者)社会福祉法人京都博愛会

京都博愛会病院 直通 ☎ 075-706-6631

月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)午前9時～午後5時
※病院ホームページからもご相談いただけます。

京都市北区・上京区認知症初期集中支援チーム



こちらをご覧ください

京都博愛会病院

検索